

デザイン案の詳細



Design concept 「防犯と景観の両立」

→公園内の見通しと動線を確保する防犯効果の向上とともに
周囲に広がる街の景観とにぎわいを警固公園の魅力として取り込む

①中央園路、中央広場設置による新たな動線と賑わいの創出

実施設計全体平面図



- 死角を形成していた築山とウォーターデッキを撤去し、新たに中央園路を設置。公園内外の見通しを良くし、園内への動線促進を企図。また通路として可視化させることで、中央広場の迷惑行為となっていたデモ隊等の集会を規制する方策に活用
- 中央園路の延長上に広がる周辺商業施設の魅力的なファサードと、人通りや賑わいの様子を公園の風景として取り込む
- 旧公園で動線が多く見られた既存園路は一部拡幅し、段差を無くすバリアフリー整備を施す等、園内全体の歩行環境を改善

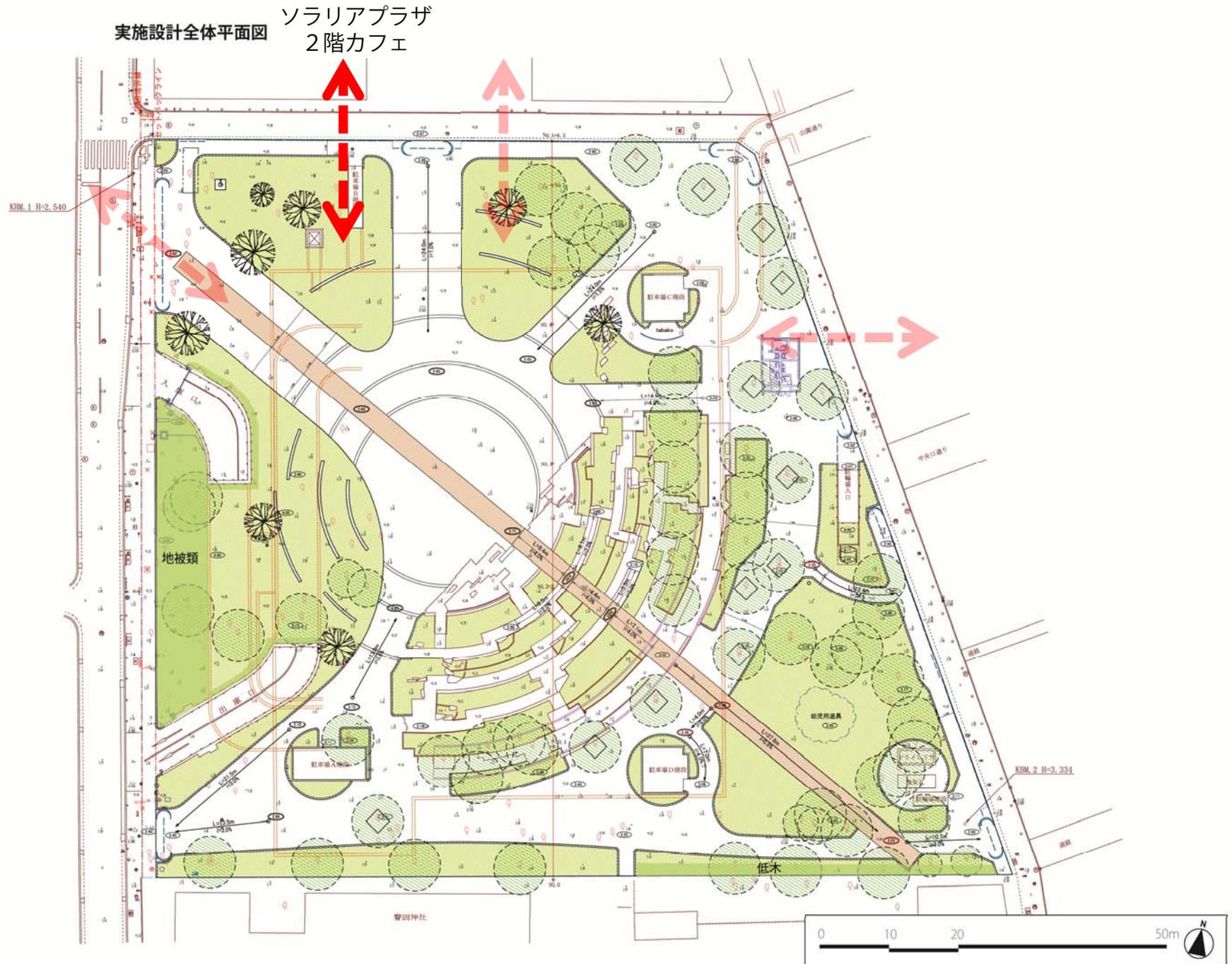
整備前





整備後

②見通し改善による周辺との視覚的つながりの創出（公園北西部）



□築山の撤去とともに新たに植える樹木の配置を工夫し、公園北西部からの見通しとともにソラリアプラザ2階のカフェから園内が見通せるようにした。

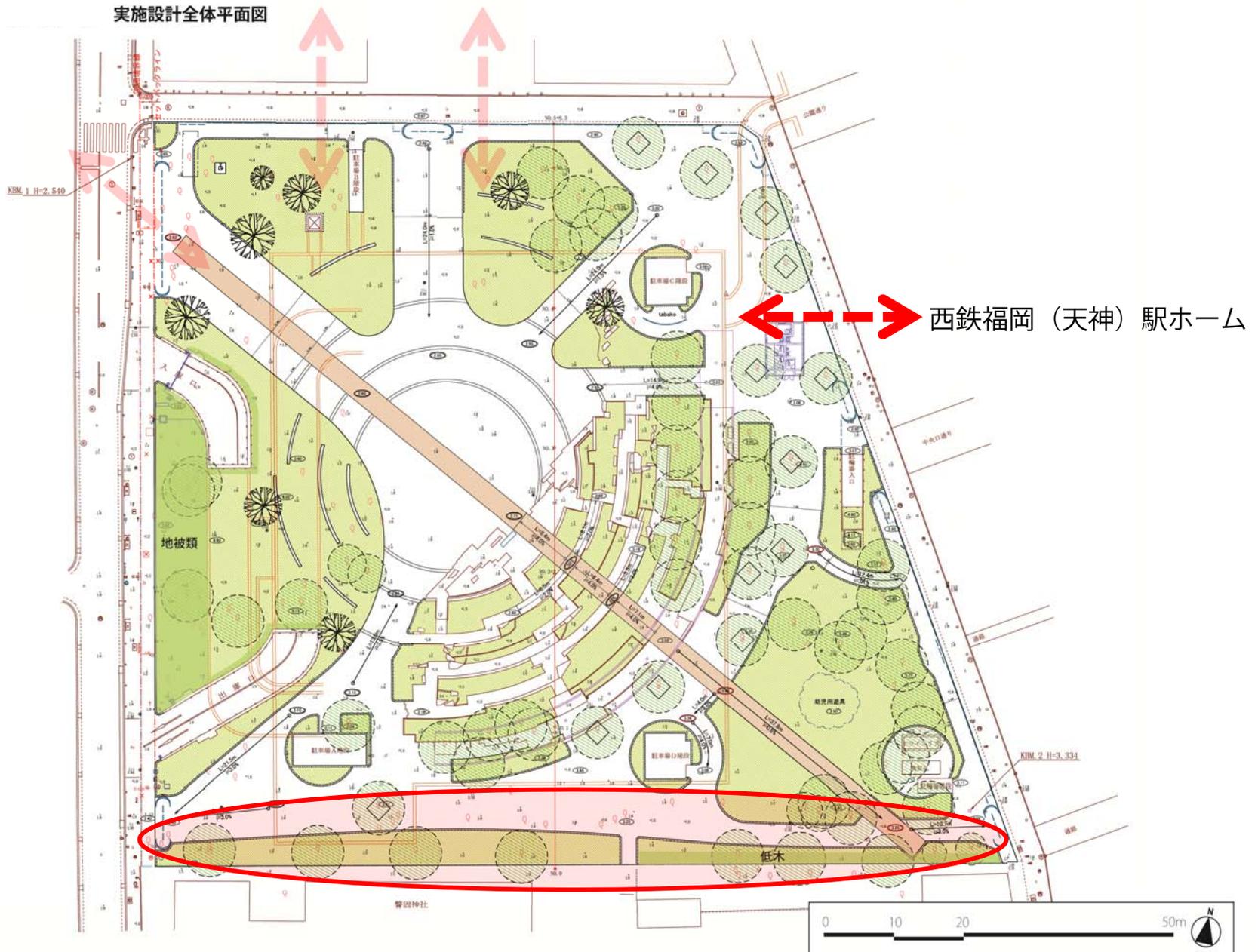


ソラリアプラザ2階カフェからの眺め



ソラリアプラザ2階カフェからの眺め

②見通し改善による周辺との視覚的つながりの創出（公園東部、南部）



- 暗がりが多く、人通りの少なかった南側園路では、老朽化し見通しを遮っていた公衆トイレを人目につきやすい公園東部の西鉄福岡（天神）駅前に移設。さらに南側園路自体の線形を直線化する修正を施し、東西につなぐ通路の見通しを改善した。
- 同時に西鉄天神駅ホームからの見通しを阻害していた樹木をトイレの移設にあわせて1本除去し、ホームから公園内の様子が眺められるようにした。
- 警固神社との境界部に二重で設置されていた柵を撤去し、神社の雰囲気に合わせてシンプルな柵を再設置した。



南側通路の様子

整備後



南側通路の様子

整備前



西鉄福岡（天神）駅ホームからの眺め

整備後



西鉄福岡（天神）駅ホームからの眺め

②見通し改善による周辺との視覚的つながりの創出（公園西部）



- 事件発生後、立ち入り禁止となっていた築山を撤去し、中央園路の繋がるオープンスペースとして公園出入口を改修、警固神社通りからの見通しを改善した。
- 公園東側の境界部をセットバックし、狭隘さが問題視されていた警固神社通りの歩道を拡幅した。



警固神社通りから見た旧警固公園の築山ならびに隣接する歩道

整備後



警固神社通りから見た警固公園

③緑地空間の拡充

実施設計全体平面図



- 見晴らしの丘や子ども広場など、新たに芝生を植えて緑地空間を拡充。子ども広場にあった遊具は緑地の中に再配置し、親子連れなどの利用者が憩える場としてリニューアル。
- 上記芝生の緑地空間内に新たに石のベンチを増設。形状は旧公園の円弧を踏まえて曲線に、さらに芝生内に入れ込むことで迷惑行為となっていたスケボーやバイクの不適切な利用を抑制。



子ども広場の様子

整備後



子ども広場の様子

→これまで見られなかった子ども達の利用が増加。近隣保育園園児の新しい散歩コースに。

④旧警固公園の記憶・愛着を継承

実施設計全体平面図



□旧警固公園の記憶、愛着を園内に留めるため、再整備前から多くの利用があった特徴的な石のベンチならびにそれらが配置された公園中央エリアは、通路の段差を無くすバリアフリー整備を施したうえで以前の形に再配置した。

整備前



工事期間中



整備後

